

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 土地水政策課
 担当名: 見沼田圃・三富地域担当
 内線: 2192

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B36	見沼田圃保全・活用・創造事業推進費		一般会計	総務費	企画費	企画調整費	見沼田圃保全・活用・創造事業推進費		
事業期間	平成 8年度～	根拠法令	見沼田圃の保全・活用・創造の基本方針		針路	10 豊かな自然と共生する社会の実現	SDGsゴール	11, 15	
					分野施策	1001 みどりの保全と創出	SDGsターゲット	11-7, 11-a, 15-1	
1 事業概要			5 事業説明						
「見沼田圃の保全・活用・創造の基本方針」に基づき、広域的な立場から治水機能を保持するため、土地利用に係る施策及び公有地化事業を行うとともに、公有地化した土地の利活用事業を行う。			(1) 事業内容						
ア 見沼田圃土地利用関係諸会議開催費 会議開催事務費を削減したことによる減 △403千円			ア 見沼田圃土地利用関係諸会議開催費 889千円						
イ 見沼田圃公有地化事業費 土地の買取面積が見込みを下回ったことによる減 △185,823千円			イ 見沼田圃公有地化事業費 295,756千円						
ウ 見沼田圃県民ふれあい事業費 民間団体運営委託費等が見込みを下回ったことによる減 △20,301千円			ウ 見沼田圃県民ふれあい事業費 40,927千円						
2 事業主体及び負担区分			(ア) NPO等民間団体運営委託 27,881千円						
ア・イ・ウ (県10/10)			(イ) 公有地整備 7,129千円						
イ斜面林保全のみ (県1/3)市2/3			(ウ) 新規導入作物実証栽培 379千円						
			(エ) 新たな担い手創出(異業種・花畑) 5,538千円						
			(2) 事業計画						
			ア 土地利用規制 見沼田圃の治水機能を維持するため、地元2市とも連携をしつつ、引き続き土地利用規制を行っていく。						
			イ 公有地化推進事業 基本方針により土地利用が著しく制限される場合等に取り又は借受けによる公有地化を進めていく。 また、見沼田圃周辺斜面林を保全するため、地元市の公有地化を支援する。						
			ウ 県民ふれあい事業 見沼田圃にふれあうイベント等を実施するとともに、農業者等に公有地の貸付けを行う。						
3 地方財政措置の状況			(3) 事業効果						
なし			ア 基本方針に定める土地利用申出処理件数(県)(30年度:4件 元年度:1件 2年度:3件)						
			イ 公有地化実績(30年度:0.1ha 元年度:0.2ha 2年度:0.2ha)						
			ウ 公有地貸付けによる事業費削減等(3年度:5.2ha貸付 貸付収入725千円収納、管理費用13,676千円削減 →4年度:5.2ha貸付 貸付収入726千円収納、管理費用13,676千円削減)						
			(4) 県民・民間活力・職員マンパワーの活用、他団体との連携状況 管理コストの削減、見沼田圃区域内の農業振興及び緑地空間の保全を図るため、公有地を農業者等に貸付ける。						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員			(5) 補正予算の概要						
9,500千円×3.7人=35,150千円			ア 見沼田圃土地利用関係諸会議開催費: 会議開催事務費を節減したことによる減額						
			イ 見沼田圃公有地化事業費: 土地の買取面積が見込みを下回ったことによる減額						
			ウ 見沼田圃県民ふれあい事業費: 民間団体運営委託費等が見込みを下回ったことによる減額						
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
		繰入金	諸収入						
決定額	△206,527	△206,127	△400					0	131,045
現計額	337,572	337,172	400					0	

事業内訳書

事業名	見沼田圃保全・活用・創造事業推進費		
単位事業名	見沼田圃土地利用関係諸会議開催費	予算額	△ 403千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△304	—	土地利用審査会委員報酬の減 △2回分
旅費	△6	—	委員連絡調整旅費の減
需用費	△73	—	土地利用関係諸会議事務消耗品費の減
使用料及び賃借料	△20	—	土地利用審査会会場使用料の減
合計	△403	—	

単位事業名	見沼田圃公有地化事業費	予算額	△ 185,823千円
-------	-------------	-----	-------------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△2	—	現地調査費の減
需用費	△71	—	公有地化事務消耗品費の減
役務費	△841	—	公有地化事務通信費及び不動産鑑定料の減
委託料	△9,544	—	地積測量委託料及び地積更正登記委託料の減
使用料及び賃借料	△131	—	公有地借受地賃借料の減
公有財産購入費	△85,916	—	公有地買取費の減
負担金、補助及び交付金	△89,286	—	見沼田圃周辺斜面林公有地化支援補助費の減
公課費	△32	—	見沼代用水土地改良区賦課金の減
合計	△185,823	—	

単位事業名	見沼田圃県民ふれあい事業費	予算額	△ 20,301千円
-------	---------------	-----	------------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△81	—	運営委託事業審査評価委員報酬の減 △1回分
旅費	△10	—	現地調査旅費の減
需用費	△1,984	—	運営委託事業審査評価事務消耗品費、公有地管理消耗品費、新規作物実証栽培消耗品費、新たな担い手創出支援消耗品費、印刷製本費及び設備修繕費の減
役務費	△1,154	—	普及啓発事業通信費、公有地維持管理費、新たな担い手創出支援公有地整備費の減
委託料	△14,620	—	NPO塔民間団体運営委託、公有地維持管理委託費、新たな担い手創出事業委託料の減
使用料及び賃借料	△374	—	公有地維持管理設備使用料、運営委託事業審査評価会場使用料の減
工事請負費	△2,078	—	公有地整備工事費の減
合計	△20,301	—	